

2ポート シリアル - IP Ethernet デバイス サーバー - RS232

NETRS2322P



*実際の製品は写真と異なる場合があります

FR: Guide de l'utilisateur - fr.startech.com
DE: Bedienungsanleitung - de.startech.com
ES: Guía del usuario - es.startech.com
NL: Gebruiksaanwijzing - nl.startech.com
PT: Guia do usuário - pt.startech.com
IT: Guida per l'uso - it.startech.com

本製品の最新情報、技術仕様、サポートについては、
www.startech.com

FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合（干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます）、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします：

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

本デバイスは、FCC規格Part 15に準拠しています。お使いの際には、次の注意事項をよくお読みください。(1) 本デバイスが有害な干渉を引き起こすことはありません。(2) 本デバイスは予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければなりません。

StarTech.comにより明示的に承認されていない変更もしくは改変を行った場合、本デバイスを操作するユーザー権限が無効になる恐れがあります。

インダストリーカナダ準拠ステートメント

本クラスBデジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。

CAN ICES-3 (B)

商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルのウェブサイト上で使用しますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

目次

はじめに	1
パッケージの内容	1
動作環境	1
製品図	2
フロントビュー	2
リアビュー	2
DB9 RS232コネクタピン配列	2
LEDインジケータについて	3
デバイスサーバーのインストール手順	4
電源アダプタを使用したデバイスサーバーのインストール手順	4
ターミナルブロックを使用したデバイスサーバーのインストール手順	4
デバイスサーバーの設定	5
EMT接続ウィザードのインストールと設定 (Windowsのみ)	5
EMTソフトウェアの利用	5
ウェブGUI (Windows、Mac、Linux) を使用した設定	6
デバイスサーバーを工場出荷時設定 にリセットする	7
面または壁への取り付け	7
技術サポート	8
保証に関する情報	8

はじめに

パッケージの内容

- 1x 2ポートシリアルデバイスサーバー
- 1x ターミナルブロック (2線式)
- 1x ユニバーサル電源アダプタ (北米/EU/UK/オーストラリアで使用可能)
- 1x ソフトウェアCD
- 1x クイックスタートガイド

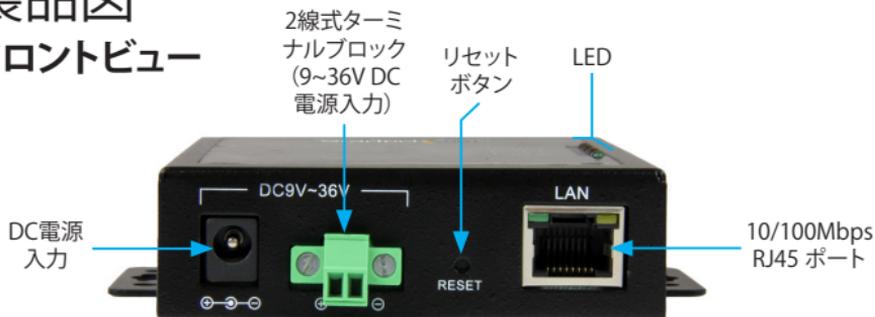
動作環境

- 10/100Mbpsネットワーク機器 (例: スイッチ、ルーター)
- UTP Cat5e以上のRJ45コネクタ端子付きEthernetケーブル
- RS232シリアルケーブル
- 利用可能なAC電源コンセント
- トランスミッターブロック電源 (冗長電源用オプション)
- 平頭ドライバ
- 以下のオペレーティングシステム (付属のVirtual COMソフトウェア - Windows®のみ):
 - Windows 10 (32ビットまたは64ビット)
 - Windows 8 / 8.1 (32ビットまたは64ビット)
 - Windows 7 (32ビットまたは64ビット)
 - Windows Vista (32ビットまたは64ビット)
 - Windows Server® 2012、2008 R2

注意: デバイスサーバーのハードウェアはMac OSとLinux®とも互換性があります。ただし、付属のVirtual COMソフトウェアはこれらのオペレーティングシステムと互換性はありません。MacまたはLinuxオペレーティングシステムと一緒に使用する場合は、デバイスサーバーはウェブGUIを使用しないと設定できません。

オペレーティングシステム要件は変更される場合があります。最新要件は、www.startech.com/NETRS2322P でご確認ください。

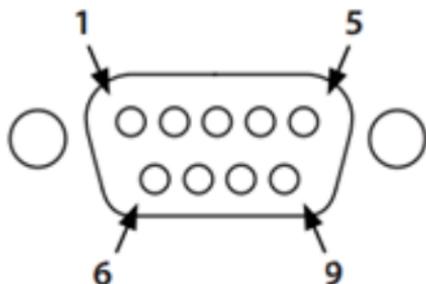
製品図 フロントビュー



リアビュー



DB9 RS232コネクタピン配列



ピン1	NC
ピン2	RXD
ピン3	TXD
ピン4	DTR
ピン5	GND
ピン6	DSR
ピン7	RTS
ピン8	CTS
ピン9	NC

LEDインジケータについて

LED	動作	意味
ステータス(緑)	点灯	正常ステータス、デバイスサーバーに電源が入っています
	点滅	内蔵ソフトウェアはロードされていますが動作していません
ステータス(赤)	点滅	内蔵ソフトウェアがロードされていないか故障しています
ステータス(赤と緑)	交互に点滅	ファームウェアがロードされていないか故障しています
ポート1(赤)	点灯	データを受信中
	オフ	データを受信していません
ポート1(緑)	点灯	データを送信中
	オフ	データが送信されていません
ポート2(赤)	点灯	データを受信中
	オフ	データを受信していません
ポート2(緑)	点灯	データを送信中
	オフ	データが送信されていません

デバイスサーバーのインストール手順

デバイスサーバーには付属の電源アダプタかターミナルブロック電源(9~36V DC)で電力を供給します。また、電源アダプタとターミナルブロック電源の両方を接続して冗長電源を構成することもできます。

電源のひとつが故障した場合、デバイスサーバーは2つ目の電源に切り替えます。

電源アダプタを使用したデバイスサーバーのインストール手順

1. デバイスサーバーに接続する機器の電源を落とします。
2. デバイスサーバーの**DB9 RS232**ポートにストレートシリアルケーブル(別売り)で最大2つのRS232シリアルデバイスを接続します。
3. デバイスサーバーの**10/100Mbps RJ45**ポートにRJ45 Cat5e(以上)のEthernetケーブル(別売り)でネットワーク機器を接続します。
4. お住まいの地域に適した電源クリップを電源アダプタに接続します。
5. 電源アダプタをACコンセント、次にデバイスサーバーの**DC電源入力**ポートに接続します。**ステータス LED**(電源)が点灯し(緑)、デバイスサーバーからピープ音が1回鳴ります。
6. 手順1で電源を落とした機器の電源を入れます(ネットワーク機器とシリアル機器)。

ターミナルブロックを使用したデバイスサーバーのインストール手順

1. **電源アダプタを使用したインストール手順**セクションの手順1から手順3までを繰り返します。
2. 既に挿入されている場合、ターミナルブロックコネクタをデバイスサーバーから取り外します。小型の平頭ドライバ(別売り)を使用してターミナルブロックコネクタの左右サイドにある2本のネジを緩めます。
3. 小型の平頭ドライバを使用してターミナルブロックコネクタ上部の2本のネジを緩めます。
4. DC電源のプラス/マイナス側配線を適切なターミナルブロックのコネクタに接続しネジを締めます。デバイスサーバーのケースにはターミナルに印が付いています。

注意:正常に動作するよう、入力電力 - プラス(+)とマイナス(-) - の極性とターミナルブロックピンが合っていることを確認します。

5. ターミナルブロックにデバイスサーバーを挿入し直し、手順2で緩めたネジを締めます。**ステータス LED**(電源)が点灯し(緑)、デバイスサーバーからピープ音が1回鳴ります。

デバイスサーバーの設定

デバイスサーバーはEMT接続ウィザードソフトウェアかWebブラウザからGUI(グラフィカルユーザインターフェース)にアクセスして設定できます。

EMT接続ウィザードのインストールと設定 (Windowsのみ)

1. 最新のソフトウェアをダウンロードするには、Webブラウザで <http://www.startech.com/NETRS2322P> を開きます。
2. **Support (サポート)** タブをクリックします。
3. ソフトウェアをダウンロードします。
4. ダウンロードが完了したら、ダウンロードした圧縮ファイルのコンテンツを展開します。

注意:ほかに、付属のソフトウェアCDを使用してソフトウェアをインストールする方法もあります。ただし、StarTech.comのウェブサイトから最新のソフトウェアをダウンロードすることを強くおすすめします。

5. 実行しているWindowsバージョン用のソフトウェア実行ファイル(.exe)をダブルクリックします。64ビットオペレーティングシステムの場合は、**x64フォルダ**にあるファイルを実行してください。32ビットオペレーティングシステムの場合は、**x86フォルダ**にあるファイルを実行してください。
6. 画面の指示に従い、インストールを完了します。

注意:インストールを完了するにはコンピュータの再起動が必要な場合があります。

7. インストールが完了したら、Windowsのデスクトップまたはスタートメニューからアイコンを選択してEMT接続ウィザードを起動します。
8. 画面の指示に従ってデバイスサーバーと接続しているシリアル機器の設定をします。

EMTソフトウェアの利用

EMTソフトウェアを使用する前に、デバイスサーバーとお使いのコンピューターが同一のネットワークに接続されていることを確認してください。

1. ソフトウェアのインストールが完了したら、Windowsのデスクトップまたはスタートメニューからアイコンを選択して**EMT接続ウィザード**を起動します。
2. **Elevate** ボタンをクリックして管理者モードでウィザードを実行し、次に**Next**をクリックします。
3. 作成したいリンクの種類を選択します。作成したいリンクの種類はデバイスサーバーの使用目的によって決まります。ほとんどの場合、最初のオプション**Create a link between a Virtual Serial Port and a Device** (仮想シリアルポートとデバイス間にリンクを作成する)を選択することになります。

4. **Create new VSP**オプション、次にポートの名前(例:COM1)を選択して新しいVSP(仮想シリアルポート)を作成します。**Next**をクリックします。
5. **Select from the list**をクリックします。デバイスサーバーが **Auto-Discovery** リストに表示されます。ダブルクリックして選択します。
6. 次の画面で**Next**をクリックします。
7. **Channel**を選択して **Next**をクリックします。**Channel 1**はデバイスサーバーのシリアルポート1に、**Channel 2**はデバイスサーバーのシリアルポート2に対応しています。
8. 最初にどちら側から送信するかを選択します(例:クライアントまたはホストとしてデバイスサーバーを設定する)。**Next**をクリックします。
9. 画面上の指示に従ってさらに設定を入力します(例:ゲートウェイとネットマスクの設定、シリアル設定など) **Next**をクリックして次の画面へ移動します。
10. **Configure**をクリックしてから**Finish**をクリックします。

注意:

- EMT DS Managerを使用すれば Webインターフェースを使用せずに設定を管理でき、ネットワークを介してコンピューターからデバイスサーバーを監視できます。
- EMT DS Managerソフトウェアはデバイスサーバー自身の設定をする時に使用します。一方、VSP Managerはシリアルポートの設定に使用します。

ウェブGUI (Windows, Mac, Linux) を使用した設定

1. Webブラウザのアドレスバーに以下のアドレスを入力します:
http://192.168.1.40

注意:手順1のアドレスを使用するには同じサブネット(192.168.1.xxx)に接続されている必要があります。デバイスとの接続に問題がある場合は、ネットワーク インフラストラクチャを確認してデバイスサーバーも同じサブネット上に接続されているか確認してください。

2. パスワード フィールドを空白に残して、**Login**をクリックします。
3. 必要に応じてデバイスサーバーの設定をセットアップしカスタマイズしてください。

ウェブ GUI デフォルト:

デフォルトIP:192.168.1.40

パスワード:

デバイスサーバーを工場出荷時設定にリセットする

デバイスサーバーをリセットするには以下の手順に従ってください：

1. 電源をデバイスサーバーから外します。
2. デバイスサーバーからネジを2本外してケースを開きます（ネジはデバイスサーバーの両側に1本ずつあります）。
3. デバイサーバーからピープ音が2回鳴るまで**Resetボタン**を押し下げます。

注意：デバイスサーバーの外側の**Resetボタン**はハードウェアリセット用でデバイスサーバーを再起動します。

面または壁への取り付け

- デバイスサーバーに開けられている取付用穴とネジ（別売り）を使用して壁または面へデバイスサーバーを取り付け固定します。

技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、www.startech.com/support までアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンライン工具、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

ドライバやソフトウェアに関する最新情報は www.startech.com/downloads でご確認ください

保証に関する情報

本製品は2年間保証が付いています。

StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害 (直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

見つけにくい製品が簡単に見つかります。StarTech.comでは、これが企業理念です。それは、お客様へのお約束です。

StarTech.comは、お客様が必要とするあらゆる接続用パーツを取り揃えたワンストップショップです。最新技術からレガシー製品、そしてこれらの新旧デバイスを一緒に使うためのあらゆるパーツ。当社はお客様のソリューションを接続するパーツを見つけるお手伝いをしています。

当社はお客様が必要なパーツを見つけるのを助け、世界中どこでも素早く配送します。当社の技術アドバイザーまでご連絡いただくか、当社のウェブサイトまでアクセスしていただくだけで、お客様が必要としている製品をすぐに提示します。

StarTech.comが提供しているすべての製品に関する詳細な情報は www.startech.com までアクセスでご確認ください。ウェブサイトだけの便利な工具をお使いいただけます。

StarTech.comは接続や技術パーツのISO 9001認証メーカーです。StarTech.comは1985年に創立し、米国、カナダ、イギリス、台湾に拠点を構え、世界中の市場でサービスを提供しています。